



# レインフォレスト・アライアンス 再生農業認証について

専門的認証プログラム

## 再生農業基準の設計

約40年にわたるノウハウと再生農業の専門知識を背景として



コーヒー、茶類、カカオ向け  
スコアカードの開発。



約800万人の農業生産者  
と労働者。



生産者・学術機関・企業との  
28回の協議



企業および地域景観との10  
件以上の試験的プロジェクト。



600万ヘクタール以上



5大陸にわたる取り組み

農作物別の再生農業スコア  
カード、  
試験的プロジェクト、ベンチ  
マーキングの実施。

レインフォレスト・アライ  
アンス認証には、  
すでに多くの再生農業の原  
則が組み込まれています。

農業生産者、専門家、企業  
との詳細な協議を  
経て策定されました。

### 再生農業基準（RAS）

再生可能な成果の達成を目指す  
農業者と企業のための  
専門分野認証解決策です。



2026年に公  
開予定。

## 再生農業基準のご紹介

## 再生農業基準の利点

### 農業生産者にとって



土壌の健全性を高め、  
農場の回復力と  
生産性を向上



再生型の農業手法が認知  
されることで、専門市場  
へのアクセス拡大



将来の生産を確保するた  
めのロードマップとなる

### 企業にとって



再生農業の認証マークと  
商標表示で差別化を図る



より深いサステイナビリ  
ティ投資による  
供給の安全性の強化



再生に関する野心的な  
ESG目標達成に向けた  
進展を加速

### 消費者にとって



信頼できるラベル付きの  
再生農業製品の購入を選  
べる機会を提供



再生に投資する企業に褒  
賞を与える機会



消費者を再生への取り組  
み運動に巻き込む

## なぜ「再生農業基準」を別の基準として設けるのか？



### 持続可能な 農業基準



世界的に認知されている、**包括的**な認証  
解決策として存続。



認証農場のすべてが、  
再生農業の要件を満たす準備ができてい  
るわけではない。



認証農作物のすべてが、再生農業の要  
件に十分適しているわけではない。



### 再生農業 基準



差別化の機会を提供する、**特化型**の認証  
解決策。



一部の認証農場は、すでに再生農業の要  
件を満たしている。



コーヒー・カカオ・茶類・柑橘類が、再  
生農業認証の対象となる最初の農作物と  
して位置付けられている。

# 持続可能な農業基準と再生農業基準 の違い

## 認証解決法の概要

持続可能な農業  
認証



+

再生農業  
認証



アドオン  
形式

2026年3月 1 日  
公開予定

また  
は


再生農業  
認証



単独形式



公開日  
未定

# レインフォレスト・アライアンスの持続可能な農業基準と再生可能な農業基準の違いは何ですか？

	要件	特徴
	 持続可能な農業	
継続的改善	22	より強力な土壌・害虫管理、自然被覆の改善、労働リスク管理システム、労使協定なしの公正な賃金、生活環境の向上、地域社会との連携。
専門的	32	高度な土壌・作物・害虫管理技術、書面による契約、生活賃金の見直し、ジェンダー平等、児童保護、生態系と水資源の保全、安全な廃棄物管理。
基本	93	森林破壊ゼロ、責任ある水利用、プレミアムの支払い、トレーサビリティ、遺伝子組み換え作物（GMO）不使用、公正な労働条件、正式な労働契約に基づく最低賃金。



# レインフォレスト・アライアンスの持続可能な農業 基準と再生可能な農業基準の違いは何ですか？

	要件	特徴
	  持続可能な農業 + 再生農業アドオン	
継続的改善	22	5
専門的	32	12
基本要件	93	

新規または更新された作物の少なくとも50%は、当該作物にとって経済的に重要な病害虫に耐性を持つものでなければならない。時間の経過とともに更新された生産面積の少なくとも60%を維持すること。時間の経過とともに土壌被覆率を少なくとも60%維持すること。生産者における農薬使用量のモニタリングを時間の経過とともに強化すること。

より厳格な実践：地域適応植物の導入；作物の再生・改良；詳細な土壌・葉面分析；合成肥料の利用効率向上；有機肥料と合成肥料の最適バランス；農薬・除草剤使用量の削減；土壌被覆；高度な生物多様性目標

# レインフォレスト・アライアンスの持続可能な農業基準と再生可能な農業基準の違いは何ですか？

	要件	特徴
	 <p>再生農業 単体</p>	
継続的改善	3 5	持続可能な農業基準と共通する3つの継続的改善要件：水資源の効率的利用（雨水・灌漑水）、地域の流域保全活動への参加。
専門的	6 12	持続可能な農業基準と共通する6つの専門的要件：土壌評価、統合的病害虫管理（IPM）、排水・浸食・塩類蓄積を最小限に抑えつつ収量を向上させる効率的な灌漑システム。
基本要件	93	+93 持続可能な農業基準と共通の基盤要件：森林破壊ゼロ、責任ある水利用、プレミアム支払い、トレーサビリティ、遺伝子組み換え作物（GMO）不使用、公正な労働条件、正式な労働契約に基づく最低賃金。

# 主要な再生型農業実践、要件の 閾値、指標

## 再生農業基準の成果



### 土壌

農作物の栄養管理と最適化を行う。  
土壌の健康を促進し、侵食を防ぐ。



### 生物多様性

自然植生の被覆を維持し、景観レベルの生物多様性と自然生息地の保全に貢献する。



### 水資源

水資源を保護し、保全し、責任ある利用を推進する。



### 農作物と気候変動に対する回復力

統合的雑草管理を導入する。  
適切な作物品種を選択する。  
農薬の使用を削減する。



### 生計

農場が事業として運営され、農業従事者がその成果に応じた報酬を得られる。

生態系サービスが強化され、投入コストが削減する。

## 成果

品質と肥沃度の回復 → 作物の栄養状態の改善。



農場内外の生態系サービスの向上。



品質と入手可能性の向上。



農作物の健康状態の改善、持続可能な生産性、農薬使用の削減。



より持続可能な農業生産者の生計



# 再生農業基準の実践が、持続可能な農業基準（SAS）を上回る点

## 土壌



肥料施用の最適化。生産者団体に対する閾値

温室効果ガスの排出量（データ項目）を削減し、**土壌健全性を高める**ための追加**施肥戦略**（データ項目）

**有機肥料**の使用増加。閾値と循環性の概念（データ項目）

**土壌被覆**。時間経過に伴う閾値の推移（パーセンテージ）（データ項目）

植栽・接木・植え替えと回復のための植物品種。時間経過に伴う閾値の推移（パーセンテージ）。

**回復と更新・植え替えの実践**。閾値と経年的な増加率（データ項目）

**統合的雑草管理**（IWM）プログラムの設計と実施

**除草剤使用量**の経時的な削減（実証）

**その他農薬使用量**の経時的な削減（実証）

「**例外的な使用に関する方針**」に基づく農薬の**段階的削減**

**自然植生被覆**（閾値）（データ項目）

**アグロフォレストリーシステム**の導入（樹種、層構造、在来種の数）（データ項目）

## 作物と気候 レジリエンス

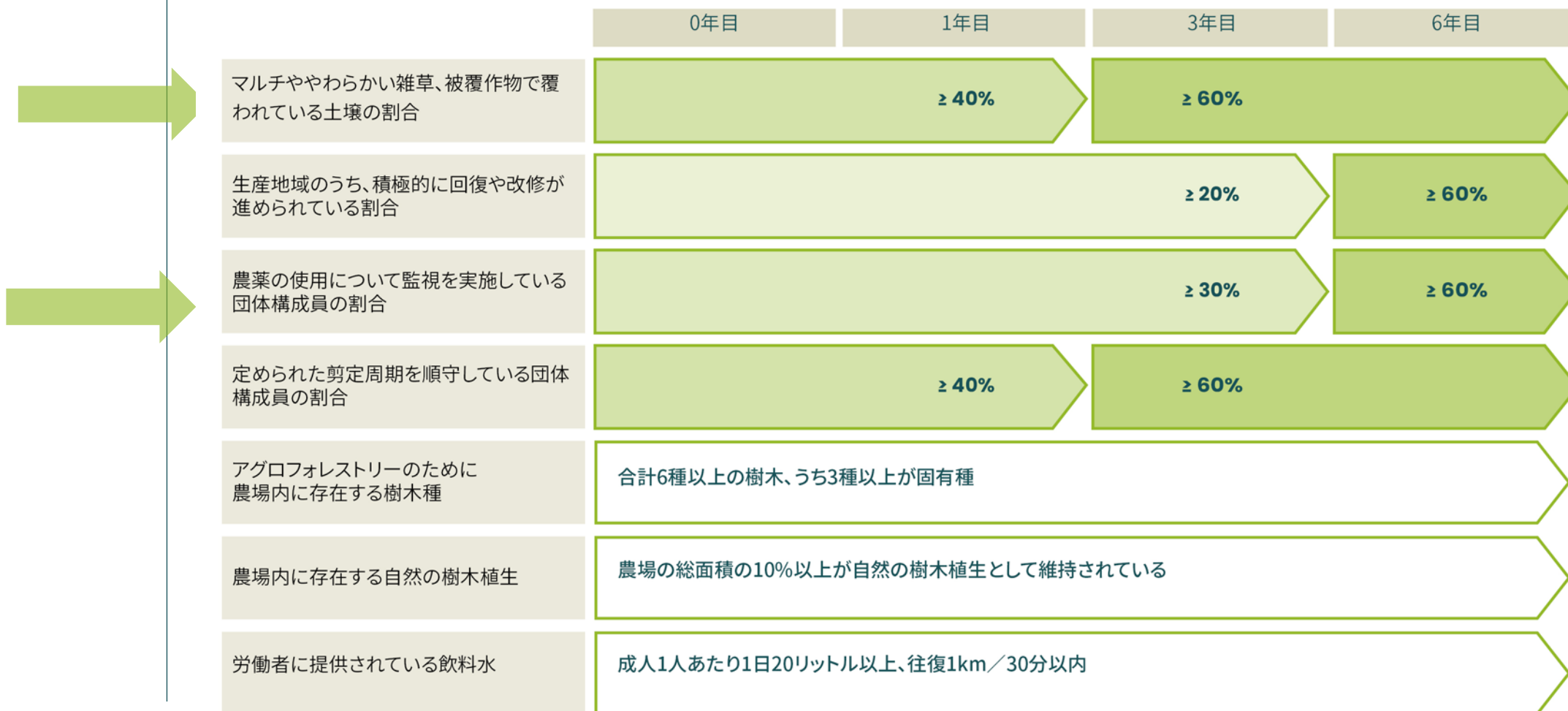


## 生物多様性



# 再生農業基準が時間経過とともに、どのように進歩を積み重ねていくか

時間とともに積み上げる成果：再生農業基準の目標



## 再生農業基準（RAS）の指標が継続的改善をどのように支えるか

- ✓ 農場レベルでの指標の収集は必須要件である
- ✓ 計画立案と農場の再設計を可能にする
- ✓ SDGsとネットゼロ（実質ゼロ）目標の達成を支援する
- ✓ 主要な成果分野全体での継続的改善を推進する

### 再生農業基の指標の例

更新と植え替えまたは回復が行われている  
農地面積

土壌有機物量およびミミズや微生物の数

### 肥料（窒素）の利用効率

使用される農薬（殺虫剤）の有効成分の種類と量

自然植生およびアグロフォレストリー下にある農地面積

# 再生農業基準の指標がどのように成果に結びつくのか



直接的貢献



間接的貢献



指標	土壌健全性	生物多様性	水資源	作物の回復力・耐性	生計
<ul style="list-style-type: none"> <li>被覆作物やマルチ、および/または柔らかい雑草によって覆われている生産面積の割合、土壌侵食の割合</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌有機物の割合、またはミミズの個体数、または微生物数</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>肥料（窒素）の利用効率</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新または再生の取り組みが行われている生産面積の割合</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>前年の有効な例外的な使用に関する方針（EUP）申請の件数</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>前年の無機肥料の使用量（リットルまたはキログラム）</li> <li>前年の有機肥料の使用量（リットルまたはキログラム）</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した農薬（除草剤、殺虫剤など）の有効成分名</li> <li>前年の農薬散布回数</li> <li>前暦年における1ヘクタールあたりの農薬使用量（gまたはkg）（有効成分ごとに分類）</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然植生が占める農場面積の割合（%）</li> <li>アグロフォレストリーを導入している農場面積の割合</li> <li>農場内の在来樹木種の数</li> <li>1ヘクタールあたりの日陰樹の本数</li> </ul>					



## 再生農業基準の実施項目

文脈化・地域適応

サプライチェーン認証範囲

プレミアム

再生農業認証マークと商標表示

## 再生農業を実践的なものに

- 気候、生物多様性、文化に適応した実践方法

### 将来の方向性

地域別・作物別の要件  
＋  
要件実施ガイド

- 実践的な例：
  - ✓ 土壌被覆：60%を目標値とし、作物別の柔軟性を持たせる
  - ✓ 植栽資材：カカオ：2品種以上、茶類：3品種以上

## サプライチェーン認証範囲

農場の要件は「持続可能な農業基準」と「再生農業基準」で異なる一方、サプライチェーン要件は同じです。

持続可能な農業基準の認証をすでに取得している場合

- 再生農業基準対応のために範囲を拡張
- (サプライチェーン) 要件は変わらない
- 審査員が適切な完全分離 (SG) を検証

持続可能な  
農業基準

再生農業基準

農場要件

農場要件

サプライチェーン要件

## プレミアムおよび二重認証に関する期待事項

プレミアムの支払い報告は、すべてのレインフォレスト・アライアンス基準における必須要件です。契約書内で条件や金額を明示し、トレーサビリティプラットフォームで報告する必要があります。

二重認証（SAS+RAS）= より高い報酬が見込まれる

二重認証農場は、  
以下の認証区分として販売可能：



レインフォレスト・アライアンス  
認証（持続可能な農業基準（SAS））

また



レインフォレスト・アライアンス認証  
（再生農業基準（RAS））

また



+



レインフォレスト・アライアンス  
二重認証（持続可能な農業基準  
+ 再生農業基準  
（SAS+RAS））

## 再生農業認証マークと商標表示



レインフォレスト・アライアンス

「ラベル表示と商標に関する方針」は、ブランドが自社の持続可能性の取り組みや成果を、明確かつ信頼性をもって発信できるよう支援します。

# **RAINFOREST ALLIANCE**